

第 11 回臨床教科教育学セミナー2012 のご案内

1 主催 臨床教科教育学会

2 後援(予定) 文部科学省,東京都教育委員会,港区教育委員会,日本水圏環境教育研究会,東京海洋大学

3 期日 平成 25 年 1 月 12 日(土)

4 会場 東京海洋大学海洋科学部(〒 108-8477 東京都港区港南 4-5-7)

5 日程(予定)

8 時 20 分 ~ 8 時 45 分 受付

8 時 50 分 ~ 9 時 00 分 開会行事

9 時 00 分 ~ 10 時 00 分 自由研究発表

10 時 15 分 ~ 11 時 45 分 記念講演(上越教育大学理事兼副学長)

11 時 45 分 ~ 13 時 00 分 昼食,休憩

13 時 00 分 ~ 14 時 20 分 自由研究発表

14 時 20 分 ~ 14 時 30 分 休憩

14 時 30 分 ~ 15 時 50 分 自由研究発表

15 時 50 分 ~ 16 時 00 分 閉会行事

16 時 30 分 ~ 18 時 00 分 懇親会(生協食堂)

6 発表申し込み

受付

(1)研究発表は,自由研究発表のみとします。発表者は,原則的に会員となります。会員については,本年度までの学会費を大会当日までに納入していることが要件です。新たに学会に入会し発表される方は,発表申し込みと並行して次の臨床教科教育学会事務局に入会手続きをお取り下さい。

本学会ホームページ(<http://www.rinkyokyo.com/>)上にある“入会手続き”に,入会手続きの詳細を記載しています。

(2)自由研究発表及び発表予稿集の原稿送付方法

発表を希望される方は,発表の申し込みと同時に発表予稿集の原稿も送付してください。申し込み

の書式は自由ですが以下の事項をお書きください。発表予稿集の原稿の形式は「13 発表予稿集の原稿の形式」をご参照ください。11月30日(金)必着にて電子メール：hypom@goo.jpにご連絡ください。

- 1 「発表者氏名」
- 2 「発表題目」
- 3 「発表者所属」
- 4 「発表者連絡住所」
- 5 「発表者連絡先電話番号」
- 6 「発表者連絡電子メール」
- 7 「懇親会参加の有無」
- 8 「発表原稿」は添付してください。(ワードをお願いします)

※ 当日は発表 15 分,質疑 3 分で行います。

7 参加申し込み方法

参加を希望される方は,12月10日(月)までに郵送または電子メールのいずれかの方法でご連絡ください。発表申し込み・発表予稿集の原稿送付先 電子メール: hypom@goo.jp にお送りください。書式は自由ですが 以下の事項をお書きください。(当日受付も可能ですが,人数把握のため,できるだけ,〆切日までに申し込んでください。)

- 1 「参加者氏名」 2 「参加者所属」 3 「参加者連絡住所」 4 「参加者連絡先電話番号」 5 「参加者連絡電子メール」 6 「懇親会参加の有無」
- 7 「臨床教科教育学会員所属の有無」

8 参加費

学会員:1,000 円,非学会員(大学院生,一般):2,000 円,懇親会費:3,000 円です。ただし,大学生の参加費は無料(資料なし)です。資料を希望される場合は資料代 1,000 円です。全て,当日の受付にて参加費,懇親会費を集めさせていただきます。

9 派遣申請

派遣申請書をお求めの方は,「派遣者氏名」,「宛先」を明記の上,セミナー2012 実行委員会まで電子メールか郵送のいずれかにてご連絡ください。なお,こちらで旅費等の負担はできません。

10 問い合わせ先

臨床教科教育学セミナー2012 実行委員会 電子メール: hypom@goo.jp 詳細が決定し次第,最新情報をホーム・ページ上に掲載いたします。

<http://www.rinkyokyo.com/>

11 交通・宿泊案内

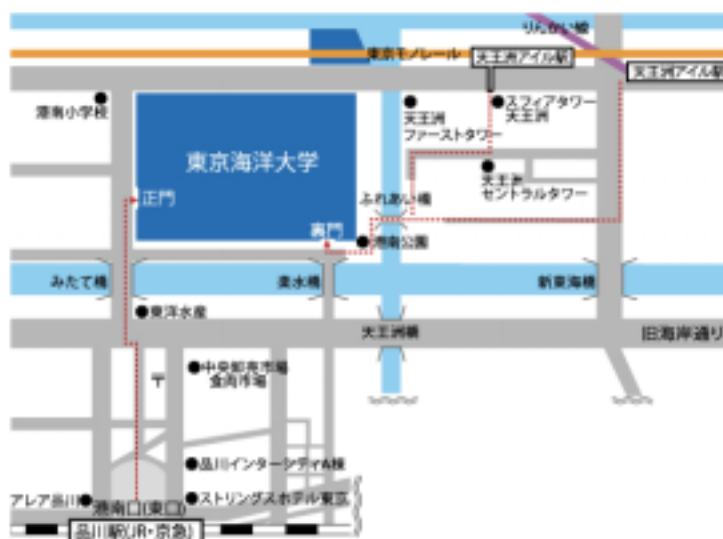
■ 路線図

東京海洋大学の各キャンパスへの交通のご案内



■ 品川キャンパス(海洋科学部)へのアクセス

〒108-8477 東京都港区港南4-5-7
TEL:03-5463-0400(代表)



品川キャンパス交通案内

- ・ JR 線・京浜急行線 品川駅港南口(東口)から徒歩約 10 分

・東京モノレール天王洲アイル駅から「ふれあい橋」を渡り正門まで約 15 分

・りんかい線天王洲アイル駅から「ふれあい橋」を渡り正門まで約 20 分

12 セミナー2012 実行委員会

〒 108-8477 東京都港区港南 4-5-7 東京海洋大学 5 号館 412 号室第 11 回臨床教科教育学セミナー
2012 実行委員会事務局 実行委員長:佐々木剛

参加申し込み 電子メール: hypom@goo.jp

住所: 〒 108-8477 東京都港区港南 4-5-7 東京海洋大学 5 号館 412 号室第 11 回臨床教科教育学セミナー2012 実行委員会事務局宛

	学会のみ参加	学会+懇親会参加	
1.学会員	1,000 円	4,000 円	
2.非学会員(院生,一般)	2,000 円	5,000 円	
3.大学生	無料(資料なし)	3,000 円	資料ご希望の場合 1,000 円

13 発表予稿集の原稿の形式

(原稿例)

〇〇条件の提示による〇〇時の〇〇概念の意識変容に関する研究

〇臨 床介 (〇〇大学大学院)
投稿 例子 (〇〇大学)
(rinkyokyo@rinkyokyo.com)

要約

本研究の目的は、次の3点である。第1は、各教科における〇〇を取り入れた授業についての教師の意識を明らかにすることである。第2は、既習前に〇〇条件 (〇〇的〇〇を生じさせる条件) の提示による〇〇効果、〇〇効果 (〇〇度と〇〇的影響) を意識変容から検討することである。第3は、既習前に〇〇条件を提示することが、〇〇として機能するか検討することである。その結果、次のことが明らかになった。

キーワード：学び合い、人間関係、意識変容

I 問題の所在

最近の〇〇教育では、基礎基本の定着を図るとともに、主体的に問題解決できる能力が求められている。特に後者の点については、学習者に〇〇がおかれる〇〇的〇〇が〇〇される授業を構築しなければならない。現在まで、〇〇的〇〇が生じることにより〇〇的〇〇がなされ、〇〇効果につながる例が多く報告されている。〇・〇〇(1994)は、〇〇概念を通して〇〇提示における概念変容の研究を行った¹⁾。それによると、事象をうまく〇〇できないときに〇〇的〇〇が生じ、その〇〇のために概念変容が起こると捉えている。つまり、概念〇〇〇〇である。

II 研究目的

本研究では、〇〇を解明することを目的とする。

III 研究方法

注意事項

1. 原稿はA4版2枚とする。
2. タイトルはゴシック体14pt太字で、中央寄せにする。
3. 研究者名(所属校名)は明朝体12ptで右寄せにする。共同研究者、連絡先のアドレスについても同じ。
4. 要約は簡潔にまとめ、1行開けてキーワードを5語以内とする。1行開けて見出しを書き始める。

5. 見出しはゴシック体10.5pt太字で、前文との間を1行開ける。

6. 本文は2段組、文字数22字、行数43行とし、明朝体10.5ptで仕上げる。

7. 余白は上下25mm、左右20mmとする。

8. 各引用箇所には、1)、2)、3)の順に右上付けで、番号を入れる。

引用文献

- 1) 〇〇・〇〇：「〇〇提示における生徒の概念の変容—〇〇を事例とした〇〇概念に関して—」, 〇〇学会研究紀要, Vol. 〇〇, 1994.

注意事項

著者名：「論文名」, 雑誌名, 巻, 頁, 発行機関または発行所, 発行年.

著者名：「単行本」, 頁, 発行所, 発行年.